

# 事業概要 【介護認定審査会ペーパーレス化事業】

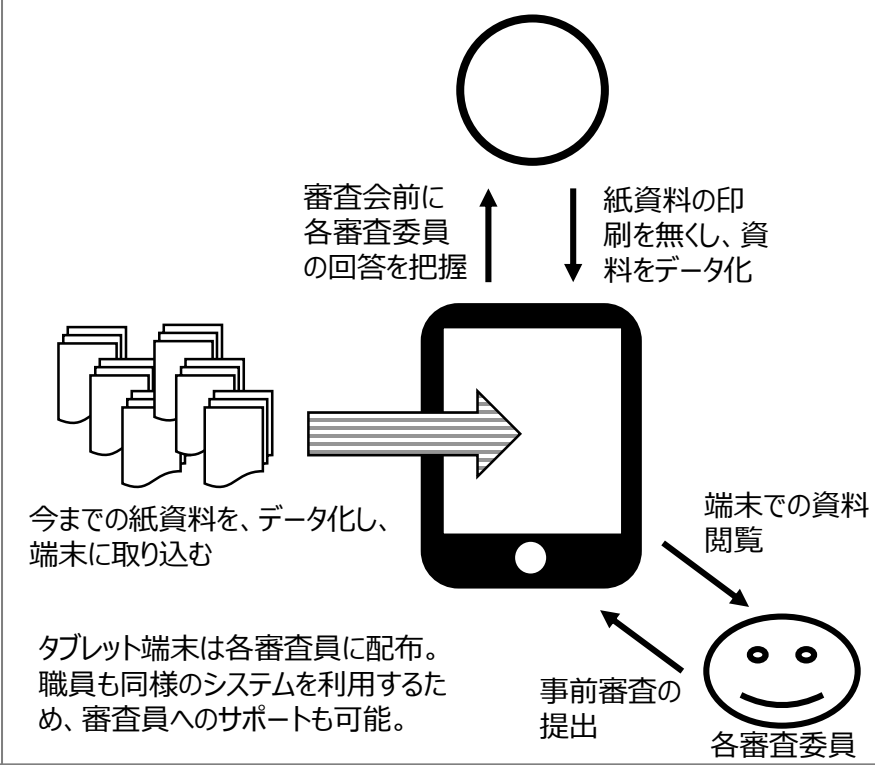
自治体名	千葉県東庄町	人口	12,628人	事業費	2,086千円
------	--------	----	---------	-----	---------

**事業概要**  
 介護認定審査会をペーパーレス化するシステムを導入することにより、審査会に使用する膨大な量の紙資料を保管することなく、タブレット端末で閲覧及び事前審査の共有を行える環境を構築する。構築された環境の中では、1回の審査会に係る人数が増加するため、町民は申請から認定までの時間が短くなり、スムーズに介護サービスを受けられるようになる。

**具体サービス**

【ペーパーレス会議システム】

- ・審査会に使用する資料（審査員1人あたり120枚）の保管をタブレット端末上で管理することが可能。
- ・閲覧以外にも、事前審査を記録・共有することが可能なため、会議の時間を短縮することができる。
- ・審査員は、膨大な量の資料を管理し、審査会時に持参するという心的疲労を軽減することができる。



**主なKPI**

【アウトプット指標（活動指標）】

- ① 一回の審査会に係る審査人数
- ② ペーパーレス会議システムを利用して審査会を行った回数

【アウトカム指標（成果指標）】

- ① 要介護度の認定に要する時間
- ② 審査員の資料管理に係る心理的不安

# サービス内容（政策目的への適合性）

## ■ 事業の実施によって解決を図る課題及び実現したい地域像

### ■ 事業の実施によって解決を図る課題

【介護保険認定申請者】（＝介護保険を必要とする町民）

・介護保険を申請してから、介護サービスを使うために必要な【認定が出るまでの期間】が長い。

**Q.なぜ、【認定が出るまでの期間】が長いのか？ A.介護保険認定審査会に係る事務に課題が存在している。**

#### 課題①【介護認定審査員】

・審査会開催前に、40人分の資料に目を通し、事前審査をしているが、紙の量が多く、また、資料を受け取り時に家にいなければならない、審査会に資料を持ち運ばないといけないため、【紙資料の管理に係る心理的負担】が生じる。

・審査会をスムーズに進行するために、【事前審査の結果共有】を欲する。

#### 課題②【介護保険係】

・審査会における資料の印刷・配布・保存・溶解処理等に【労力及び需用費】がかかっており、また【他業務の時間を圧迫】している。

・審査会における一連の業務を洗い出すことによって、【他にもデジタル化できる見込みはある】ように思えるが、それを検討する時間を取れないでいる。

### ■ 事業の実施により将来的に実現したい地域像

上記に掲げる課題①、課題②を解決することで、【介護保険認定申請者】が介護保険を申請してから認定までの期間を短くし、介護が必要になった時に、迅速且つ適正に介護サービスが受けられる地域を目指す。

#### 課題①【介護認定審査員】が解決すると…

・紙資料の管理という心理的負担がかからなくなり、審査会に向けた準備に専念できるようになる。

・事前審査の結果を共有することにより、審査会をスムーズに進行し、一回に審査出来る人数が増やすことが出来る。

#### 課題②【介護保険係】が解決すると…

・資料に関係する業務時間を減らすことで、審査会に係る他の業務時間削減に向けた検討時間が取れるようになる。

### ■ 計画等における位置づけ

東庄町高齢者福祉計画〈第10期〉介護保険事業計画〈第9期〉の基本目標において、「良質なサービスの提供が可能となるように、福祉・介護に関わる人材の確保・育成に努める」としており、デジタルを使った人材育成も良質な介護サービスに繋がるとしている。

# サービス概要 (1/1)

サービス名	ペーパーレス会議システム	事費	2,086千円
ターゲット	【介護認定審査員】【介護保険係】		
サービス内容	【課題】介護保険の申請から認定までの期間が長い。		

現状の課題を【ペーパーレス会議システム】を利用することで、どのように解決していくか？

### 【介護認定審査員】

課題

個人情報に掲載されている膨大な資料を手渡しで受領するため、日程調整が必要となり、受領後も審査会まで家で管理しなければならないため、紛失等への心理的負担が生じる。また、審査会をスムーズに行うためにも事前審査の結果を他の委員と共有したいが、審査会当日の共有になってしまう。

解決

支給されたタブレット端末に直接資料を送る機能があるため、受領に関して日程調整の必要が無くなる。また、パスワードにより閲覧をロックすることが出来るため、安心安全に保管でき、場所も取らない。受領にタイムラグが発生しないため、資料を読み込む時間をいままでより多く取ることが出来るだけでなく、端末にて他の審査員の事前審査が共有されるため、当日の進行がスムーズになり、より多くの方を審査することが可能になる。

### 【介護保険係】

課題

審査会の一連の業務において、審査会の資料準備の時間が一番労力及び需用費をかけており、印刷時には、窓口業務といった他業務の時間を圧迫している。人的リソースが少ない中で、他にもデジタル化できる業務があるように思えるが、検討する時間を持ってないでいる。

解決

一番、時間を圧迫している資料の印刷時間を短縮することにより、他業務の時間を確保するだけでなく、デジタル化が進められる業務について検討する時間を取れる。

介護認定審査会において、ペーパーレス会議システムを使うことで、審査会1回あたりの審査人数を増やすことが出来るので、申請をした町民は今までよりも早く審査会の順番が回ってくるようになる。

**【目指すべき地域像】介護を必要とする町民が、迅速且つ適正に介護サービスを受けられる地域**

- ☑ 上記サービスの実装にあたり、国による他の補助金等の対象となる可能性のある事業は、当該補助金等を利用することについて確認した

# サービス内容（政策目的への適合性）

## ■ 参考とした他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービス

### ■ 山梨県南アルプス市

南アルプス市は、会議資料の紙媒体による管理に多くの課題を抱えていました。具体的には、資料の印刷・配布にかかる時間とコストの増大、情報共有の遅延、そして紙資料の保管・管理に伴うスペースの確保やセキュリティリスクなどが挙げられます。

これらの課題を解決するため、南アルプス市はペーパーレス会議システムを導入しました。

南アルプス市に導入したシステムは、以下のような機能を備えています。

**資料の登録と管理:** ブラウザから簡単に資料をアップロードでき、フォルダごとの権限設定や公開期間の設定も可能です。

**資料の閲覧と同期:** 登録された資料はフォルダビューやカレンダービューで簡単に閲覧でき、手書きメモの追加や他のユーザーとの画面同期も可能です。

**管理者機能:** ユーザー管理、コンテンツ管理、端末管理、ログ管理など、多様な管理機能を搭載し、適切な資料管理を実現します。

**セキュリティ機能:** コンテンツの暗号化、端末認証、IPアドレス制限、ログ管理など、情報流出リスクを低減するための機能が充実しています。

システムの導入により、南アルプス市は会議資料の電子化を実現し、印刷・配布にかかる時間とコストの削減、情報共有の迅速化、保管スペースの削減、そしてセキュリティの強化を達成しました。

現在では、会議の効率化と業務の生産性向上に大きく寄与しています。

**町民への裨益性:** 資料の作成、受け渡しが迅速にできるようになり、認定までの期間が短くなりました。そのため、介護認定が早急に必要な方がいても対応できるようになりました。また、印刷時にプリンターを独占しておりましたが、その独占が無くなり、窓口で住民を待たせる時間がなくなりました。

**担当課の所感:** 介護が必要になった方への迅速な介護認定が可能になっただけでなく、市の財政負担も軽減されました。



- 紙の印刷・配布不要
- 審査会資料に特化した画面設計
- 介護認定審査資料を自動解析しアップロード
- デジタルに事前審査
- オンライン会議連携

■ 参考URL : <https://www.morenote.jp/>

# サービス内容（政策目的への適合性）

## ■ サービスを地域に普及・定着させるための工夫

介護認定審査会の委員については、実装前に操作説明会を開催するだけでなく、心理的不安を軽減するために職員も同様のタブレット及びシステムを使うことで気軽に疑問について相談できる体制を構築する。また、サポートデスクの設置、必要に応じての操作研修会を年に1回程度行うことも検討している。

町民については、町が徐々にDX化してきていることについて、広報誌等を通じて周知する。

実際に介護保険を申請した人もしくはケアマネジャーについては、東庄町地域包括支援センターを通じて周知する。

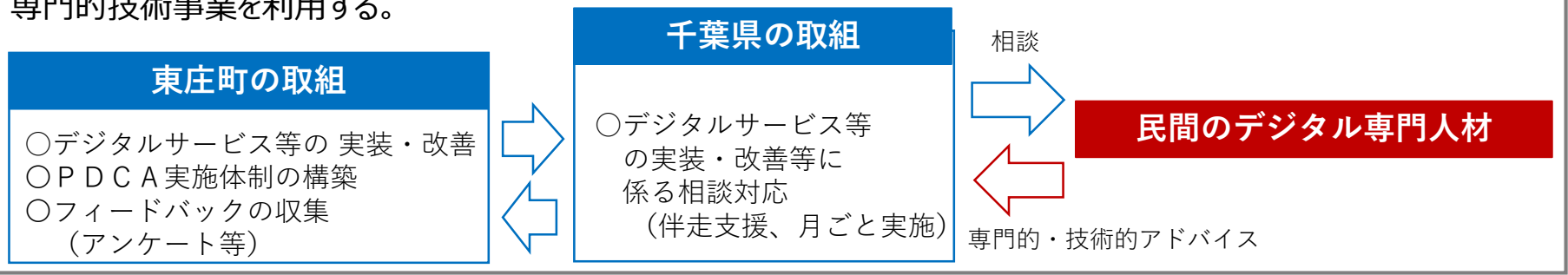


## ■ サービスの質やユーザー満足度の向上・改善の手法

年度末に介護認定審査会の各委員にアンケート調査を行い、今回実装するシステムの満足度や心理的不安の軽減に繋がっているのか、システムを導入した結果、審査会業務全体に係る各機関の作業時間が削減できた等を把握する。

評価・改善は毎年、審査会内で行い、必要に応じてDX推進係に助言をもらう。

また、客観性担保の観点から外部有識者の評価を得るため、千葉県が行っている民間のデジタル専門人材を活用した専門的技術事業を利用する。



# 事業計画（実装計画・運営計画）

## ■ 運営計画（KPI達成のための中長期スケジュール）

年度の変更不可→	2025年度	2026年度	2027年度
ペーパーレス会議システムの運用方法の定着及び向上	システム実装 →	操作研修によるシステム運用方法の定着 → 運用方法に係るフィードバック・評価	操作研修によるシステム運用方法の向上 → 運用方法に係るフィードバック・評価
介護認定審査会に係る業務の見直し及びDX化	システム実装 →	システム実装後に業務を見直し、ほかの作業のDX化を検討する。 →	ほかの作業におけるシステムの導入 →